



Contents

<https://view-next.benesse.jp/>

本誌記事は、ウェブサイトVIEWnext ONLINEでもご覧いただけます。

印刷製本 / (株) 協同プレス
編集協力 / (有) ベンダコ
執筆協力 / 二宮良大
撮影協力 / 荒川 潤、谷口 哲、筒井岳彦、福山 哲、
ヤマグチイッキ

※本文中のプロフィールはすべて取材時のものです。また、敬称略とさせていただきます。 ※本誌記載の記事、写真の無断複写、複製及び転載を禁じます。
©Benesse Corporation 2023

- 1 創刊400号を迎えて
- 2 創刊400号記念特集

共に創る教育の未来

連載

34 ————— お勧めの分掌 ————— 管理職 ————— 教務担当 ————— 進路担当 ————— 担任

指導変革の軌跡

長崎県立大村高校

SSHの進化

日々の授業と地域連携を起点に、
SSHの探究学習を進化

38 ————— お勧めの分掌 ————— 管理職 ————— 教務担当 ————— 進路担当 ————— 担任

新課程レポート

2025年度大学入試の情報整理と、
情報、地理歴史・公民の指導のポイント

42 ————— お勧めの分掌 ————— 管理職 ————— 教務担当 ————— 進路担当 ————— 担任

発問・課題設定をキーに見る

主体的・対話的で深い学び 授業実践

42 **英語** 山形県立東桜学館中学校・高校 山口和彦
アウトプット活動を軸に
認知負荷を上げ、4技能を鍛える



VIEWnext ONLINE
で授業の動画を配信

46 **生物** 山口県立岩国総合高校 川端雄也
自由進度学習で、生徒が自分に
合った学び方を見つける



VIEWnext ONLINE
で授業の動画を配信

52 **Reader's VIEW**

教育総合情報サイトVIEWnext ONLINE もご活用ください



- ・『VIEW next』高校版・教育委員会版の最新号やバックナンバーを、電子ブックやPDF形式で掲載
- ・本誌の「授業実践」で紹介した授業の動画を配信
- ・教育行政や大学入試など、教育に関する旬のニュースを発信

多彩な教育コンテンツをぜひご活用ください。
アクセスはこちらから

URL <https://view-next.benesse.jp/>

検索ワード

検索

2次元コード



創刊400号を迎えて

先生方とともに考える
その時代、その先の“あり方”を、

いつも弊誌『VIEWnext』高校版をお読みいただき、誠にありがとうございます。

1974年に前身の『進研ニュース』を創刊して以来、『VIEW21』、そして『VIEWnext』と名称を変更しながら発刊を重ね、今号で400号を迎えました。読者の先生方を始め、これまでご支援を賜りました皆様に、厚く御礼申し上げます。

400号に至るまでのこの約50年の間に社会は大きく変化し、それとともに教育現場も変化してきました。その変化は、学習指導要領等の学習内容に関することから、大学入試制度等の仕組みやICT等の教育・学習環境に関すること、そして教育観や指導観といった教師のあり方の変化まで、多岐にわたってきたことと思います。中でも昨今は、学校や教師、学びの“あり方”の変化に衆目が集まっています。

この“あり方”は、弊誌が先生方とともに最も考えてきたことの1つです。「進路指導のあり方」「学校教育目標のあり方」「授業と評価のあり方」など、様々な側面から、その時代の、そしてその先の高校教育のあり方を、先生方の声に耳を傾けながら考えてまいりました。

例えば、「学習評価」であれば、「次につながる学習評価」（弊誌2020年12月号・特集）、「どうすればつながる？ 観点別評価と指導・学習改善」（弊誌2023年2月号・特集）などと、そのあり方を示しました。もちろん、先生方が直面されている問題を解決するためには、具体的な評価の方法や実践の事例などをお伝えする必要がありますし、その点も大切にまいりました。ただ、背景にある目的やねらい、本質を押さえることで、具体的な方法や事例は、よりお役立ていただけるものとなります。

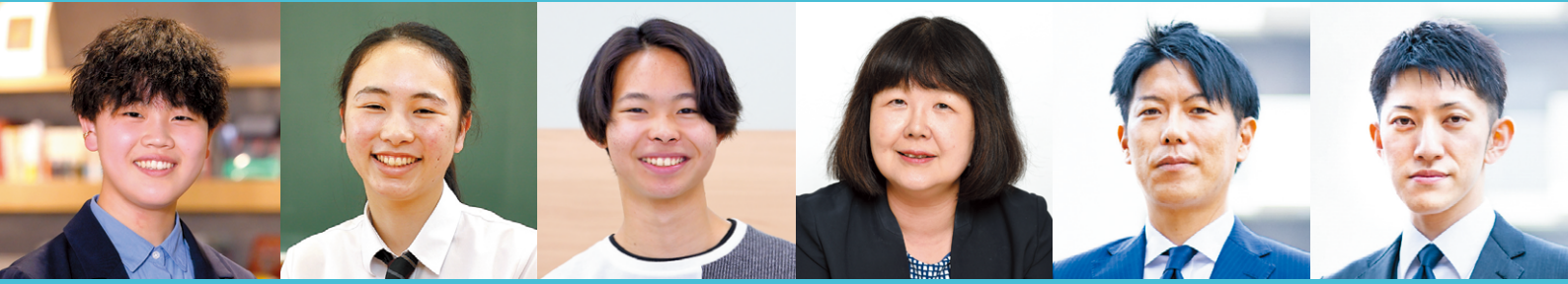
そのように、“あり方”は考えや行動の基点になるものかと思います。それを教えてくださったのは、弊誌の取材を通じて出会ったある先生でした。先生は、「どうありたいのか？」を、生徒や同僚だけではなく、自分自身に問い続け、それを教育活動の軸としていとおっしゃいました。そのお話を伺った時、“あり方”を考えることは普遍ではあるけれども、その答えは時と状況によって変わる、すなわち不易と流行の両面を持っているのが“あり方”である——だからこそ弊誌は、高校教育の“あり方”を考え続けてきたのだと、改めて認識しました。

これからも先生方とともに“あり方”を考えることを大切に、次の100号に向けて歩みを続けて参ります。その1歩目となる今号も、これからの高校教育のあり方について考える特集を組んでおります。そして、より読みやすく、活用していただける媒体となるよう、今号から誌面のあり方を変革しています。ぜひ、ご覧ください。

今後とも、ご指導、ご支援のほど、よろしく願い申し上げます。

VIEWnext 編集部 統括責任者 柏木 崇





共に創る 教育の未来



『VIEW next』高校版は、今号で創刊400号を迎えた。節目となる本号の特集では、未来の社会の担い手である若者が創りたいと思っている社会と、そうした社会を実現していくために必要な学校教育について、学校内外の多様な人々が集い、語り合った。変化が激しく、予測困難なこれからの社会をよりよいものとし、一人ひとりが幸せを感じながら生きていくためには、学校教育はどうあるとよいのか。教育にかかわる読者とともに考え、未来を創る一歩を踏み出したい。

P.4 Introduction 社会と学校教育のこれまでとこれから

若者との対話から描く、これからの学校教育

P.6 対話を通して考える

私たちが創りたい社会、これからの教育

P.8 秋田先生との対話1

一人ひとりが好きなことに没頭し、学びを深められる学校に

千葉県・私立渋谷教育学園幕張中学校高校卒業 **立崎乃衣**

P.10 秋田先生との対話2

地域に飛び出し、時間割を超えた学びを深める学校に

福島県立福島高校3年生 **伊関佳純**

P.12 秋田先生との対話3

互いの個性を尊重し、失敗してもやり直せる学校に

内閣府認定特区高等学校 明蓬館高校 岐阜SNEC3年生 **清水陸志**

P.14 若者と語り合っ

一人ひとりのよさを認める学校が、誰もが幸福な社会を創る

学習院大学文学部教授、中央教育審議会委員 **秋田喜代美**

P.16 若者の言葉に耳を傾けて

多様な生き方を尊重し合える社会の実現に向けて教師がすべきこと

静岡県立小山高校 **美那川雄一** / 静岡県立静岡東高校 **神谷隼基**

3人の若者と
秋田喜代美先生
(学習院大学文学部教授、
中央教育審議会委員)
が対話

対話から見えてきた、これからの学校教育の課題を深める

これからの学校教育の実現に向けた課題

P.20 課題1 学び続ける人材の育成

自由に学び、没頭する中で、「探究し続ける人」が育つ

東京大学文科三類1年生(長崎県立諫早高校卒業) **岸 ふみ**

長崎県立諫早高校 **後田康蔵**

國學院大学 人間開発学部初等教育学科 教授 **田村 学**

P.24 課題2 地域・家庭とともに生徒を育てる

組織的な地域連携の中で生徒を育み、よりよい学校を創る

—静岡県・富士市立高校の実践から考える—

P.28 課題3 教師が生き生きと働き続けられる環境づくり

—実践事例と識者の提言から考える、「働き方改革」のあり方—

同僚性を高め、働きやすく、働きがいもある学校に

実践事例 **宮城県角田高校と宮城県教育庁の取り組み**

識者の提言 **愛媛大学大学院教育学研究科 教授 露口健司**

P.32 Message

これからの学校のために私たちができること—

生徒一人ひとりの「学びたい!」があふれ出す未来の教育を、先生方とともに創り出す

株式会社ベネッセコーポレーション 学校カンパニー長 **田村隆憲**